

京急沿線（横浜市南部地域）における 公民連携のまちづくりの推進に関する連携協定を締結

～住みたい、住み続けたい、訪れたいと思えるまちづくりに取り組みます～

横浜市の郊外部では、人口減少、高齢化が進み、**生活を支えるサービスの充実、地域交通の確保、コミュニティの維持**など様々な課題が顕在化していることから、横浜市では「誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部」の実現に向けた取組を進めています。

このたび、京浜急行電鉄株式会社（以下「京急電鉄」）と横浜市は、京急沿線の横浜市南部地域において、将来を見据えた沿線地域の魅力向上に向けたまちづくりに協働して取り組んでいくことに合意し、まちづくりの推進に関する協定を締結しました。

経緯

- 横浜市の南部に位置する金沢区は、市全体の中でも、人口減少、高齢化が進行している地域であり、この地域の活性化に向けた具体的な対策を講じていく必要があります。
- 平成 26 年 7 月には、金沢区と京急電鉄を含む 8 団体が、地域活性化を推進するため「環境未来都市 横浜 かなざわ八協定」を締結し、イベントや広報など主にソフト面の施策を連携して取り組んできました。また、30 年 3 月には、新たなまちづくりの取組に向けて、「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン」を改定しています。
- 京急電鉄では、金沢区内を縦断する路線周辺の活性化は重要な課題であるとの考えから、若い世代の定住促進を目的に、金沢区内での**空き家活用事業**といった先行的な取組を進めています。
- こうした中、京急電鉄と横浜市は**公民連携による取組の可能性について議論**を重ね、**総合的なまちづくりを協働して推進**していくため、今回の協定を締結することとしました。

対象エリア

先行的に取り組むエリアを以下の 2 つとし、それぞれのエリア特性を踏まえた取組を展開します。



富岡西・能見台圏（中低層住宅地）

昭和 30 年代以降に、順次住宅地として開発が進み、良好な住環境が形成されている一方で、若年層の流出や住民の高齢化が進んでいるエリア

金沢区心部（金沢文庫駅周辺～金沢区総合庁舎周辺～金沢八景駅周辺）

築年数の古い大規模な施設が複数立地し、将来の土地利用転換も見据えたまちづくりの検討が必要なエリア

取組のイメージ

富岡西・能見台圏（中低層住宅地）での具体的な取組例

●生活を支えるサービスの充実

- ・生活利便性の向上に向けたサービスを提供する地域拠点施設の整備検討
- ・地域活動の基盤となるサロンなど、地域住民の居場所づくりの検討 など



地域拠点施設イメージ

●地域交通の確保

- ・電動小型低速車を活用した実証実験による新たな交通サービスの検討など地域交通機能の充実に向けた取組



電動小型低速車イメージ

●空き家・空き地対策（活用）

- ・空き家・空き地の借り上げ、活用による新たな居住者層の呼び込みや新たなサービスの提供 など



空き家の活用事例（シェアハウス）

●その他

- ・地域で運用している地区計画や建築協定等のまちのルールを活用・見直し など

金沢区心部（金沢文庫駅周辺～金沢区総合庁舎周辺～金沢八景駅周辺）での具体的な取組例

●まちづくり構想の検討・策定

- ・金沢区心部の将来まちづくり構想の検討 など



金沢区庁舎周辺の状況

役割分担

京 急

自社グループのリソース（交通、不動産、レジャー、サービス、流通など）活用による取組を推進

横 浜 市

まちづくりの各種制度活用による取組推進、関係機関協議への支援 など

協定有効期間

本協定締結日から平成33年3月末日まで（必要に応じて更新）

お問合せ先

都市整備局	企画課長	松井 恵太	Tel 045-671-2005
都市整備局	地域まちづくり課長	磐村 信哉	Tel 045-671-2694
金沢区	区政推進課長	八谷 将人	Tel 045-788-7720
京急電鉄	広報部報道課	菊池・金子	Tel 03-3280-9122